

教科	芸術	科目	音楽	単位数	2	実施クラス	1年 1～7組
単元名	【創作】歌の曲をつくろう						

1. 授業（単元）で扱う目標・内容について

①本授業の目標（能力向上をねらいとする）Step を 、特にねらいとするものを で示しています。

Step	発想	課題・仮説設定	調査・実験計画	データ取得・処理	研究遂行,考察	表現・発表
6	複数の考えを組み合わせながら、自分の発想を再考し、新しい価値を生み出すことができる。	実験・調査結果から新しい課題を見つけ、仮説を設定することができる。	課題や期間に合わせた、適切な実験・調査計画を立案することができる。	与えられたデータを統計的に分析し、分析結果を言語化できる。	必要に応じて外部と協力しながら研究ができる。	グローバルに発信・発表ができる。
5	他者とアイデアを討論し、より良いものにしていくことができる。	仮説が適当なものがあるかを判断することができる。	先行研究を参考に、新たな見解や視点を見いだすことができる。	課題を検証するための、データの取得・分析方法を検討することができる。	課題を解決するために、仮説⇒検証を繰り返すことができる。	論理的に矛盾のない文章が書ける。論文の執筆ができる。
4	知見・知識を統合して、アイデアを見いだすことができる。	疑問に対して仮説を設定することができる。	課題に対する先行研究の調査を行うことができる。	与えられたデータの代表値、分散、相関係数等を調べられる。	得られた結果と仮説が対応するかしないかを正しく判断できる。	スライド・ポスター等を使って発表することができる。
3	身の回りの現象について自分の興味のあることを調べることができる。	調べた結果に、新たな疑問を持つ。	仮説を検証するための手段・機材を検討することができる。	実験・調査を再現できるように研究記録を正確に取ることができる。	実験・調査の条件を再検討し、調整する事ができる。	スライド、ポスター等の発表資料を作成することができる。
2	身の回りの様々な現象を比較して、違いを見つけることができる。	書籍やインターネットを用いて疑問について調べることができる。	基本的な実験・調査技術を習得している。器具、操作の原理を理解している。	主張したい事柄に応じて適切なグラフを選択できる。	実験・調査の結果から何がわかったのかを理解することができる。	自分の意見や考えを、レポート等にまとめることができる。
1	日常の様々な出来事に興味を持ち、対象をよく観察することができる。	様々な現象に疑問を持つことができる。	実験・調査の手順を理解している。実験の結果を正しく読み取ることができる。	グラフの読み取りができる。数値とグラフの種類が与えられれば、書くことができる。	計画に基づき、手順通りに実験・調査を行うことができる。	自分の意見を持ち、失敗を恐れずに表現できる。

②本授業（単元）で習得すべき内容

コード進行や言葉のもつ特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくる。
表現したい旋律を楽譜に書けるようにする。

2. 1の目標・内容を達成できたかを判断する「規準」と「方法」

規準：

活動に対する意欲・関心・態度、創意工夫、技能

方法：

ワークシートの記述、作品

3. 具体的な授業におけるチャレンジ（教材・発問・学習活動・めあて・ふりかえりなど）

短い言葉（歌詞）を考え、与えられたコード進行の構成音を使って歌詞に旋律をつけて8小節の歌にする。

言葉の抑揚を生かし、全体に音楽的な起伏をつけるよう工夫する。

グループで作品を共有し、同じコード進行からできる複数の旋律を聴いて音楽表現（創作）の工夫とその可能性について考えを深め、よく出るコード進行や印象的なコード進行に気づくことで、発想の能力を伸ばす。

4. 授業の展開（2時間連続 100分授業）

時間	学習内容と活動		指導上の留意点・評価
導入 10分	ワークシート配布 目標の認識 課題説明		・コードの構成音で旋律をつけることができることを、例も示しながら伝える。
展開 35分	個人活動（25分） グループ活動（10分）	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント①の創作課題に取り組む。 ・短い言葉（歌詞）を考える。（事前に考えておく。） ・与えられたコード進行の構成音を使って歌詞に旋律をつけて8小節の歌にする。 ※ピアノやリコーダーなどの楽器や、インターネットのピアノブラウザ（iPad）を使用して音を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・4～5人のグループになり、作品を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の抑揚を生かし、全体に音楽的な起伏をつけるよう工夫できている。【音楽的な感受や表現の工夫】 ・表現したいことを楽譜に書くことが苦手な生徒については、都度助言する。 ○楽譜を正しく書けている。【表現の技能】
（休憩10分）			
展開 30分	個人活動	<ul style="list-style-type: none"> ・前のグループ活動でのアドバンスなどをもとに創作課題の続きをする。 ・①の創作課題ができた生徒は、②・③にもチャレンジする。 	
まとめ 20分	グループ活動（15分） 全体のまとめ（5分）	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの最後の部分へ記入の上、グループ活動にて意見共有する。 ・グループ活動で出た意見を全体で共有する。 	○よく使うコード進行および印象的なコード進行について考えを深めることができている。【関心・意欲・態度】

※歌詞は事前に考えておくよう指示する。

※コードネームに関する基礎知識は、本授業の前後で習得する。

※本授業後、他のコード進行で旋律を創ったり、基本的なコード進行を習得したりする。

5. 授業プリント等

【創作】歌の曲をつくろう

() 組 () 番 ()

★コードの構成音を使って言葉に旋律をつけてみよう！

※気をつけたいポイント：①言葉の抑揚は考えられているか ②全体に音楽的な起伏はあるか

例 「今日は春の日良い天気 お花見行くよ 楽しみだ」

きょうは はるのひ よいてんき

C G Am Em

おはなめいくよ たのしみだ

F G C Am Dm G C

① 「 」

C G Am Em

F G C Am Dm G C

② ㊦ ㊩

C Dm7 C/E F C/E F Dm7 G7

C Dm7 C/E F C/E F Dm7 G7 C

③ ㊦ ㊩

C D D Em7 C G B7 Em

C D D G Em A7 C D G

☆よく使うコード進行にはどんなものがあるでしょうか。気づいたことや調べたことを書いてみよう。

☆印象的なコード進行にはどんなものがあるでしょうか。気づいたことや調べたことを書いてみよう。